

内閣府説明資料①

男性の家事参画促進等について



令和元年12月16日
内閣府男女共同参画局
総務課



始めようキャンペーン

「“おとご飯”始めよう」キャンペーン考え方（要旨）

「おとご飯（おとごはん）」とは

男性が料理をするにあたっては、知識や技術がなく、自分には作れない、家族のために作る料理は栄養バランスや盛り付けなどに気がつかない立派でなければいけない、料理を作ってみたものの家族に不評だったため作るのをやめてしまった等、技術的・心理的ハードルがあると思われる。

そこで、これまで料理をしていない、料理をしたことはあるもの、作ることやめてしまったという男性の料理参画への第一歩として、簡単に手間を掛けず、多少見た目が悪くとも美味しい料理を「おとご飯」と命名。

- 「第4次男女共同参画基本計画」では、我が国の6歳未満の子供を持つ夫の週平均1日あたりの家事・育児関連時間平成23年時点で67分を平成32年までに2時間30分とする数値目標が掲げられており、また本年6月18日、「女性活躍加速のための重点方針2019」においても、男性の暮らし方・意識の変革とし、男性の家事・育児等への参画についての国民全体の機運醸成を行うこととしている。
- これらを踏まえ、内閣府男女共同参画局では、子育て世代の男性の家事・育児等の中でも料理への参画促進を目的とした「“おとご飯”始めよう」キャンペーンを

平成29年度より実施。

- キャンペーン実施の目的：これまで料理をしていない男性に対して、「“おとご飯”はじめよう」キャンペーンの認知、理解の促進を図り、料理に対するハードルを下げること、料理を通じて家事への参画を促進し、男性の家事・育児等への参加を拡大する。
- 本キャンペーンの更なる広がりを目指し、本年8月にさらに取組協力を依頼

“おとご飯”始めようキャンペーン平成29，30年度企画

おとご飯大使任命式



石橋尊久（いしばし たかひさ）

1975年生まれ

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。2002年デビュー。お笑いコンビ、イシバシハザマのボケを担当。デビュー前は、イタリアンレストランでコックの経験がある。

男性の料理機会・レシピ提案

国民的なイベントや全国の地元料理をテーマに、男性の料理参加機会の好機と捉えた訴求をホームページやSNSを中心に実施。



食育イベントとの連携

「第13回食育推進全国大会inおおいち」等のキッズステージにおいて、おとご飯大使による、男性の料理参画を目的とした「おとご飯」の実演イベントを実施。



民間との連携

平成29年9月29日（金）にプレミアムフライデー推進協議会が実施した『プレミアムフライデー収穫祭』とのタイアップイベントを神奈川県内のスーパーで実施。



※写真右側は石塚経団連副会長

「おとご飯」サポーターの募集

（平成31年3月31日現在 29人）※名称は御参加いただいた時点のものです

「“おとご飯”始めよう」キャンペーンに御参加いただいた地方公共団体の長等

【市長 16人】		【町村長 1人】	
【都道府県知事 8人】	鈴木英敬（三重県知事）	大森雅夫（岡山市長）	内田康宏（岡崎市長）
村岡嗣政（山口県知事）	伊藤寛宇（森本市長）	木幡 浩（福島市長）	藤野 勝（武蔵村山市長）
伊原木隆太（岡山県知事）	金坂昌典（大網白里市長）	藤野 勝（武蔵村山市長）	藤野 勝（武蔵村山市長）
中村時広（愛媛県知事）	関口芳史（十日町市長）	菊池 豊（伊豆市長）	渡部 尚（東村山市長）
浜田重造（香川県知事）	小林正則（小平市長）	松本武洋（和光市長）	松本武洋（和光市長）
広瀬勝貞（大分県知事）	橋川 涉（草津市長）	太田稔彦（豊田市長）	太田稔彦（豊田市長）
湯崎英彦（広島県知事）	岩倉博文（苫小牧市長）	中川 清（土浦市長）	中川 清（土浦市長）
尾崎正直（高知県知事）	白川博一（香岐市長）		

各自自治体への「おとご飯」キャンペーン活用 of 働きかけ

各自自治体を通して、各地の男女センター等での男性向け料理教室等の実施、地元民間企業との連携施設実施の働きかけ。



静岡市「おとご飯」プロジェクト

その他

- 「おとご飯」ロゴの提供（男女局HPから使用申請）
- 「おとご飯」エプロンの貸出

石橋尊久 おとう飯大使

- 石橋アカウント（SNS）を活用、おとう飯サイトにリンク誘導
- 「おとうはん/男性料理」に関するおとう飯啓発語録を発信、そこからのサイト誘導
- イベント、地域活動にSNSから参加
- 各種イベントに積極露出
- ウエアの新調
- 鎌倉FMI「おとう飯コーナー」



石橋氏ツイッター



男性家事関連地域イベントの実施支援

- 一般市民参加型の料理教室等への支援強化
- 内閣府HPで紹介
- 支援告知強化（事務連絡）
- イベント参加者にエプロン贈呈

サイト・FB情報発信プチャニユール

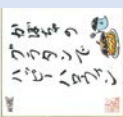
- トップページを、おとう飯の全体像が分かりやすい画面に改修、訪問者にわかりやすく情報提示
- 特に、自治体等関係者への情報提供力強化（地域情報格納ページ）



おとう飯トップページ

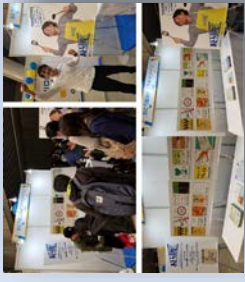
おとう飯語録

- 男性の料理参加に関する「気づき」と「あるある」をコンパクトに情報発信することで話題化。
- 料理参画に気後れする男性（子育て期）だが、メディアの特性上、より関与の高い料理をすでに試みている男性も対象とし、情報拡散。



男女局直轄イベント開催

- ファザリング全国フォーラム in にいがた/10月
- それ以外イベント実施



地方自治体首長等のサポーター任命

- 令和元年 12月1日現在 43人任命（うち今年度 13名任命）
- 【都道府県知事 1人】
花角英世（新潟知事）
- 【市長 8人】
岩浅嘉仁（阿南市長）
管家一夫（西予市長）
藤井信吾（取手市長）
十屋幸平（日向市長）
渡辺美知太郎（那須塩原市長）
- 【町村長 3人】
岡田康裕（加古川市長）
岡田一樹（藤井寺市長）
岸田和夫（鉾田市長）
大島清（伊奈町長）
山田修（東海村長）
河合永充（永平寺町長）

- エプロン贈呈に切り替え

6歳未満の子供を持つ家族の一日当たり家事・育児時間

6 歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間
(週全体 1 日当たり)

	妻		夫	
	家事・育児 関連時間	うち育児	家事・育児 関連時間	うち育児
日本	454	225	83	49
アメリカ	340	138	190	80

(分/時間:分)

6 歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間
(週全体 1 日当たり)

日本	妻		夫	
	家事・育児 関連時間	うち育児	家事・育児 関連時間	うち育児
1996	458	163	38	18
2001	461	183	48	25
2006	447	189	60	33
2011	461	202	67	39
2016	454	225	83	49

(分)

- 総務省「平成28年社会生活基本調査」および Bureau of Labor Statistics of U.S. “American Time Use Survey” (2016)より作成。
- 家事・育児関連時間は、「家事」「介護・看護」「育児」「買い物」の合計
- 対象は夫婦と子どもの世帯

男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる

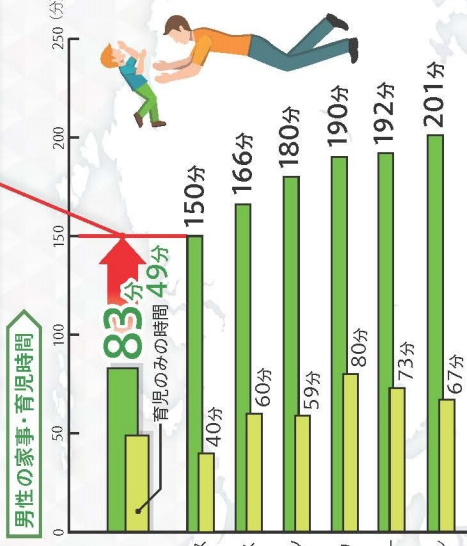
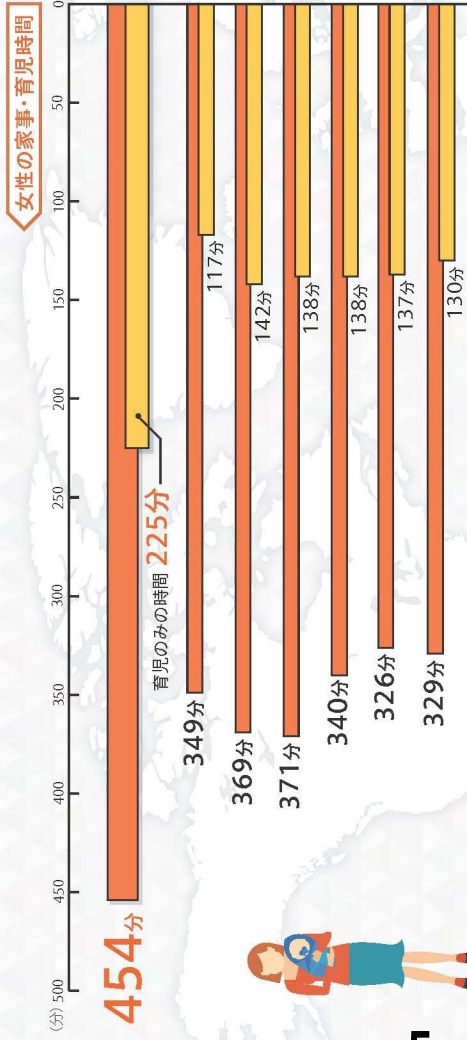
日本人男性も世界レベルの家事メンに

6才未満の子供を持つ日本人男性の1日あたりの家事・育児時間を83分から2020年に150分に

※「家事と生活の現状調査」(2007.12.18仕事と生活の調和推進委員会・アップ会委託、2015.3.7一部改正)、「少子化社会対策大綱」(2015.3.20閣議決定)、「第4次男女共同参画基本計画」(2015.12.25閣議決定)

妻

夫

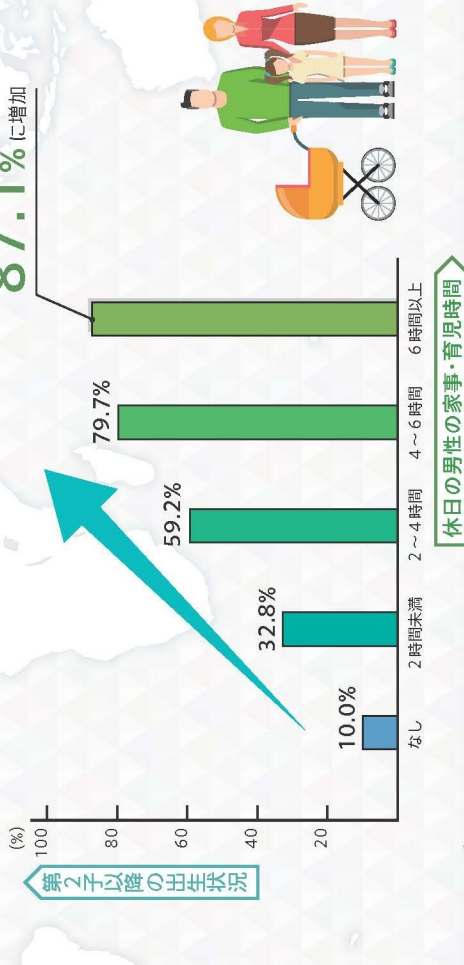


資料: Eurostat "How Europeans Spend Their Time Every Day of Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of U.S. "American Time Use Survey" (2016) 及び総務省「平成28年社会生活基本調査」より作成。
注: 日本は6歳未満の子供を持つ夫婦と子供の世帯に限定した1日あたりの「家事」(介護・看護・習字・習字以外の家事)の合計時間(週全体平均)

男性の家事・育児が日本の少子化を救う

子供がいる夫婦における夫の休日の家事・育児時間が
増えると第2子以降の出生率が大幅に増加

- 出典: 厚生労働省「第14回21世紀初世代育生調査(平成14年成年者)」(2015年)
- 注: 1. 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦。
①第1子以降の出生率が、②に比べて高い夫婦。
②第1子以降の出生率が、③に比べて低い夫婦。
③第1子以降の出生率が、④に比べて低い夫婦。
④第1子以降の出生率が、⑤に比べて低い夫婦。
⑤第1子以降の出生率が、⑥に比べて低い夫婦。
⑥第1子以降の出生率が、⑦に比べて低い夫婦。
⑦第1子以降の出生率が、⑧に比べて低い夫婦。
⑧第1子以降の出生率が、⑨に比べて低い夫婦。
⑨第1子以降の出生率が、⑩に比べて低い夫婦。
⑩第1子以降の出生率が、⑪に比べて低い夫婦。
⑪第1子以降の出生率が、⑫に比べて低い夫婦。
⑫第1子以降の出生率が、⑬に比べて低い夫婦。
⑬第1子以降の出生率が、⑭に比べて低い夫婦。
⑭第1子以降の出生率が、⑮に比べて低い夫婦。
⑮第1子以降の出生率が、⑯に比べて低い夫婦。
⑯第1子以降の出生率が、⑰に比べて低い夫婦。
⑰第1子以降の出生率が、⑱に比べて低い夫婦。
⑱第1子以降の出生率が、⑲に比べて低い夫婦。
⑲第1子以降の出生率が、⑳に比べて低い夫婦。
㉑第1子以降の出生率が、㉒に比べて低い夫婦。
㉒第1子以降の出生率が、㉓に比べて低い夫婦。
㉓第1子以降の出生率が、㉔に比べて低い夫婦。
㉔第1子以降の出生率が、㉕に比べて低い夫婦。
㉕第1子以降の出生率が、㉖に比べて低い夫婦。
㉖第1子以降の出生率が、㉗に比べて低い夫婦。
㉗第1子以降の出生率が、㉘に比べて低い夫婦。
㉘第1子以降の出生率が、㉙に比べて低い夫婦。
㉙第1子以降の出生率が、㉚に比べて低い夫婦。
㉚第1子以降の出生率が、㉛に比べて低い夫婦。
㉛第1子以降の出生率が、㉜に比べて低い夫婦。
㉜第1子以降の出生率が、㉝に比べて低い夫婦。
㉝第1子以降の出生率が、㉞に比べて低い夫婦。
㉞第1子以降の出生率が、㉟に比べて低い夫婦。
㊱第1子以降の出生率が、㊲に比べて低い夫婦。
㊲第1子以降の出生率が、㊳に比べて低い夫婦。
㊳第1子以降の出生率が、㊴に比べて低い夫婦。
㊴第1子以降の出生率が、㊵に比べて低い夫婦。
㊵第1子以降の出生率が、㊶に比べて低い夫婦。
㊶第1子以降の出生率が、㊷に比べて低い夫婦。
㊷第1子以降の出生率が、㊸に比べて低い夫婦。
㊸第1子以降の出生率が、㊹に比べて低い夫婦。
㊹第1子以降の出生率が、㊺に比べて低い夫婦。
㊻第1子以降の出生率が、㊼に比べて低い夫婦。
㊼第1子以降の出生率が、㊽に比べて低い夫婦。
㊽第1子以降の出生率が、㊾に比べて低い夫婦。
㊿第1子以降の出生率が、㊿に比べて低い夫婦。



夫婦が本音で話せる魔法のシート

家族 作戦会議

最近夫婦で会話していますか？

自分の気持ちを上手く相手に伝えられず、モヤモヤしてはいませんか？

このシートを使うとあら不思議、すんなり話ができ2人の仲も深まります。

さあ、楽しく真剣に、これからの2人のこと・家族のことを話してみましょう。

PART.1 素直な気持ちを伝えてみよう

自分がどんな暮らしをしているのか、日々どんなことを思っているのか。
下の空欄を埋めて、パートナーとシェアしましょう。

私の1日は、(楽しい・忙しい・忙しい・充実している・辛い・ゆったり・疲れる)。

には満足している。

でも本当はもっと (したい・やってみたい)。

夫・妻には 感謝しています。

欲を言えばもっと、(家事に関わってくれと・仕事を頑張ってくれと・

育児に関わってくれと・二人の時間が持てと・) 嬉しい。

書いた内容を読みあげよう。

聞いてみて意外だったところ・知らなかったところ等、感想を伝えましょう。



PART.2 2人の今を再確認！

今の暮らしをふりかえりながら、自分の理想の暮らしについて考えてみましょう。

①「現在」と書いてあるグラフに、定番の時間の使い方を記入してみましょう。

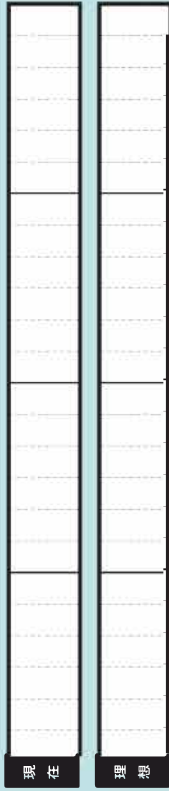
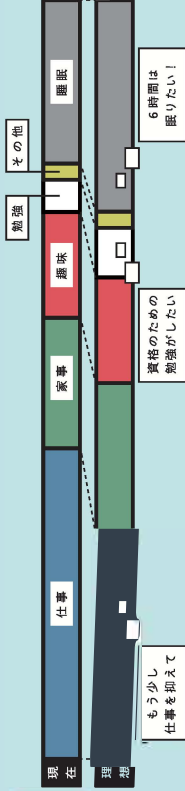
②「本当はこんな暮らしがしたい」という理想の時間の使い方を、その下に示してみましょう。

*理想を実現するためには、あまり遠い未来ではなく、1年先くらいの近い未来を想像して書くのがポイントです。

*あまり厳密にならなくてOK! 自分の感じているままに記入してみましょう。

EXAMPLE

グラフに書き込む項目例：仕事・家事・子どもとの時間・社会活動・勉強etc.



お互いの今・理想の時間の使い方、ギャップについても話をしてみましょう。
新しく発見したこと・意外なことがあれば、相手に伝えてみましょう。

理想の暮らしに近づけるために...

●パートナーにお願いしたい・伝えたいことはありますか？ (どれか1つに好きな文章をご記入ください。)

例) 早く家に帰ってきて欲しい、奥さんにも仕事をしてく欲しい、週末は夫婦でビールを飲む時間を作りたい等

もっと 時間に時間を使いたい！

もっと して欲しい！

実は してみたい！

※相手をお願いされたことについて違和感がある・疑問がある人は、それについて話し合ってみよう。



2人で"パラレル家事"

2人が同時に別の家事をこなす「パラレル(同時並行)家事」は、超効率的。レギュラーの組み合わせ(ex:料理×食卓準備、掃除×お風呂)を決めておくことでストレスが軽減されます。一方が家事、もう一方がタラダラはなるべく避けましょう！

余分な家事は"断捨離"

立派な利便が作れなくなっても、余分な家事を減らすことも大切なこと。地下室の貯蔵スペース、テーブルの飾り付け、ポットの水替え、日々の掃除を手エッジ、減らせるものを減らしてみましょう。

簡単なのに、パフォーマンス力抜群な家事アイデアをご紹介します。

第4次男女共同参画基本計画（抜粋）

I あらゆる分野における女性の活躍

第1分野 「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」

3 男女共同参画に関する男性の理解の促進

① 諸外国に比べ低水準にとどまっている家事・育児への男性の参画、介護休業・休暇の取得を一層促進するため、育児・介護休業等の両立支援制度の周知啓発、両立支援制度を利用しやすい職場環境の整備等、男性が家事・育児・介護に参画等するための環境整備や情報の提供等の支援を行う。

② 男性が家事・育児等を自らのことと捉え、主体的に参画する動きを広めるため、男性を対象とした啓発手法の開発・実施、食育の推進、男性のロールモデルによる活躍事例の発信、キャンペーンや顕彰を通じ、国民全体の気運の醸成を図る。

③ 男性が家事や育児に参画することや、介護休業・休暇を取得することに対する 周囲（女性、両親等の年配者、子供、地域、職場等）の理解を深め、男性がそれらの活動に前向きに参画等できるよう、必要な広報・啓発活動等を行う。

Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

第10分野 「教育・メディア等を通じた意識改革、理解の促進」に関する取組

1 国民的広がりを持った広報・啓発活動の展開

イ 特に男性や若者世代を対象とした固定的性別役割分担意識の解消のための広報・啓発

① 男女共同参画の意義についての理解の促進及び固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見の解消を進める。特に若年男女及び家庭における夫・父親等、また、企業・団体における経営者・管理職等の指導的地位にある男性の意識を変えるための広報・啓発活動を進める。中でも新聞、テレビ、インターネット、ゲーム等訴求力が高いメディアに対し、男女共同参画の視点を意識するよう、業界団体等を通じて啓発を行う。

ウ 男女共同参画の必要性が共感できる広報・啓発活動の推進

① 男性、子供、若年層等を含め、男女共同参画が必要であることをあらゆる人が共感できるよう、地域に根ざした身近な情報発信を推進する。

2 男女共同参画に関する男性の理解促進

（上記 I あらゆる分野における女性の活躍、第1分野 「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」、3 男女共同参画に関する男性の理解の促進 同様）